

このようなサインは、認知症の可能性がります。

初期には、もの忘れがほとんど目立たない場合があります。

【仕事や生活の場面での変化】

- スケジュール管理が適切にできない
- 仕事でミスが目立つ
- 複数の作業を同時並行で行えない
- 段取りが悪くなり、作業効率が低下する
- 取引先との書類を忘れる等、もの忘れに起因するトラブル
- ものを探していることが多くなる
- 降りる駅を間違える
- 服の組み合わせがおかしくなる
- 家族との会話の中の意味を取り違えて険悪になる
- お金を無計画に使うようになる

【うつや体調不調ととられがちな症状】

- 夜眠れない
- やる気が出ない
- 自信がない
- 運転が慎重になった
- 趣味への関心がうすれた
- 頭痛、耳鳴り、めまい
- イライラする
- 考えがまとまらない

早期診断・治療のメリット

- ① 治る病気を見逃さない
- ② 進行予防は早期治療から
- ③ 制度利用は初診日が重要
- ④ 症状の軽い間に生活の工夫が可能

認知症も早期発見・早期受診すべき病気です。

多くの方は自分の変化に自覚があります。しかし認知症の診断に行くことを決断できない場合もあります。認知症ではないかと思っても、そうでない場合もあります。

早期に治療すれば、症状が改善したり、進行を遅らせることができるものもあります。心配しているのであれば、受診をしてみましょう。

出典：本人・家族のための若年性認知症支援ハンドブック

**若年性認知症のお困りごとは・・・
あべのオレンジチームにご相談ください！**